

まちの魅力を高校生と一緒に再発見！

「海南市公式インスタグラムフォトコンテスト 2025」を開催しています

海南市（市長：神出 政巳）では毎年、市公式アカウントの登録者数及び本市の魅力的な写真の投稿の増加を図るとともに、応募作品を活用した情報発信により、シティプロモーションの強化を図ることを目的として、インスタグラムフォトコンテストを開催しています。今年は、より多くのフォロワーに気軽に参加してもらえるよう、新たに3つの部門を設け、幅広く作品を募集しています。

また、若い世代の視点を地域の魅力発信に生かす新たな試みとして、和歌山県立海南高等学校の生徒が審査員に加わります。

フォトコンテスト募集概要

期間：7月15日(火)～9月30日(火)

部門：①ポスター選手権部門 ②まちの仕事、まちの人部門 ③海南の「なんかええ」図鑑部門

賞（副賞）：各部門の最優秀賞に商品券10,000円

3部門で切り取る「海南の魅力」

過去に開催した計6回のフォトコンテストでは、写真の技術に重きを置いた審査をしていたため、参加者は限定的でした。そこで今回は、写真の技術だけでなくアイデア次第で入賞を狙え、より多くのフォロワーが気軽に参加できるよう、下記3つの部門を用意しました。

①ポスター選手権部門

市内で撮影した写真にキャッチコピーを添えた「ポスター風」の作品を募集します。写真の完成度だけでなく、発想力やコピーライティングのセンスも審査対象となります。最優秀賞に選ばれた作品は、実際にポスター化し、市のPRに活用する予定です。応募者自身の視点で切り取った「海南の魅力」が、市民や来訪者の目に触れる機会となります。

②まちの仕事、まちの人部門

市内で働く人々やその仕事の風景をテーマにした写真を募集します。普段は目にすることの少ない働く現場の姿を通じて、まちの産業や、地元で働くことの魅力を発信します。

③海南の「なんかええ」図鑑部門

フォロワー目線で見つけた、ちょっとした日常の魅力を切り取った写真を募集します。観光名所や有名スポットに限らず、何気ない風景や瞬間でも「なんかええ」と感じる場所やシーンを自由にご応募いただけます。ご応募いただいた写真は、公式アカウントのハイライトで、テーマごとに図鑑として紹介します。

高校生が公式審査員に！

今回は新たな試みとして、海南高校の生徒5名が審査員として参加します。高校生ならではの感性を作品の選考に反映させることで、若者の郷土愛の醸成につなげることを目的としています。

（2枚目に続く）

応募方法

- ①ポスター選手権部門：写真にキャッチコピー（画像内または本文）を添えて、ハッシュタグ「#海南ポスター選手権」を付けて投稿
- ②まちの仕事、まちの人部門：写真 1 枚と、本文に人物や仕事の紹介文を添えて、ハッシュタグ「#海南の仕事」を付けて投稿
- ③海南の「なんかええ」図鑑部門：写真 1 枚と、本文に簡単な紹介文（なぜそれが「なんかええ」のか）を添えて、ハッシュタグ「#海南なんかええ」を付けて投稿

本件に関するメディアからの問い合わせ先およびリリース配信元

海南市総務部シティプロモーション課

〒642-8501 和歌山県海南市南赤坂 11

TEL：073-483-8408 FAX：073-482-0099

E-mail: cp@city.kainan.lg.jp